

未来の風をつかみ、大きく羽ばたけ

The University of Kitakyushu Information SEIRAN

発行日／2011年11月11日 発行元／北九州市立大学広報入試課

Seiran 青嵐

Vol.26

公立大学法人

北九州市立大学 学報

青嵐

題字：阿南 惟正 前理事長筆

地域貢献

● ハイフォン市製造業の工場管理力向上プロジェクト
● 建築・都市低炭素化技術開発センター

いざ就活 スタート！



ゼミ紹介

Enjoy UK Life

人事・会議

特集

「就職支援」

準備始めた？自分が納得できる進路



準備始めた？自分が納得できる進路

「就活」はマニュアルがあっても「何をしたらいいかわからない、何かしたいけどどうすればいいかわからない」と、とまどいを感じがちです。本学では、3年生になって「就職」を意識するのではなく、1年生からの4年間という時間かけて、「自分の将来」と向き合います。就職活動は別名「自分探し」の活動。さあ、一緒にがんばりましょう。



10月に行われた就職ガイダンス。今後の就職活動についての話を聞き洩らさないように、熱心にメモをとる姿が多く見られました

キャリアアップ↗就職 進路は、キャリアセンターで！

キャリアセンターは、学生の就職・進路を支援するために設置されています。

1年生の時から様々な情報提供や相談、アドバイスを行なっていますので、積極的に利用して下さい！

キャリア教育・キャリア支援

1年

2年

3年

4年

授業による
「社会で働く力(基礎力)」および
「社会人としての態度」の醸成

地域活動や企業団体へのインターンシップ

就職活動支援ガイダンス

特定進路支援(キャビンアテンダント・公務員など)

キャリアカウンセリング(専門スタッフ常駐)

学生からのメッセージ

将来の自分からも「合格」が出るような行動を



文学部比較文化学科3年
肥田 英歌さん

夏休みの間に2社のインターンシップに参加しました。インターンシップ前には販売を志望していましたが、自分の頭で描いていたことと、目の前の現実が大きくかけ離れていることを知り、就職活動を見直すきっかけになりました。インターンシップは、仕事における誤解やギャップを減らすために、必要な時間と経験だと感じています。さらに受入先の方から「好きなことを仕事にすることは難しいけれど、始めた仕事を好きになりなさい」という言葉は、私の就職活動のなかで大切なメッセージとなっています。

就職活動は3年生からと思いがちですが、時間を区切るのではなく、早い時期から自分と向き合うことが大事ですね。将来の自分が今の自分を見たときに「これでよかったんだと」思えるような自分でいるために、これから的时间を有効に使いたいと思います。

キャリアセンターからのメッセージ

就職活動は大学生活の中で最も大きなイベントの一つ

本学は向学意欲が高くて真面目な学生が多いのが特徴ですが、人慣れしていないところがマイナス面になっていると感じています。勉強ができる、コミュニケーション力がなければ新しいことにチャレンジできませんから。よって臆することなく、多様な人と接する機会を学生時代に経験して、就職活動に臨んでほしいと思います。

今後は英語と中国語などアジアの主要言語を一つ習得しておくといいですね。日本語しか話せない、日本人としか会話ができないでは自分の将来を狭めてしまいます。グローバルな視野を持っていかないといけないと思いますね。あとは、地元とのつながりを活用すること。北九州に来たからこそ経験できる活動をしないと意味がないと思います。グローバルな視野と北九州市立大学にいる意味を深めていくこと、この2つが今後の就職活動に役立つ大事な要素だと思います。



キャリアセンター准教授
(地域創生学群専任)
見館 好隆

キャリア・就職支援のターゲット

■「社会で働く力(基礎力)」「社会人としての態度」の獲得

従来のニーズ

+

現在のニーズ



専門知識 ⇒ 学部授業

就職活動 ⇒ ガイダンス、各種講座、求人紹介など

技術・技能 ⇒ 資格取得講座



社会で働く力(基礎力)

コミュニケーション能力・チームワーク・主体性・柔軟性・我慢強さ・課題解決力・創造力・論理的思考・ITリテラシー



社会人としての態度

働く動機・仕事への価値観・社会人のマナー



平成22年度学部別・男女別就職決定率

	外国語学部	経済学部	文学部	法学部	国際環境工学部	計
男	84.1%	90.2%	86.2%	94.7%	92.0%	90.9%
女	90.4%	92.0%	89.7%	94.5%	100.0%	91.7%
計	89.1%	91.0%	89.1%	94.7%	94.4%	91.4%

ベトナム・ハイフォン市の製造技術力 及び工場管理力の向上に貢献

都市政策研究所 教授 吉村 英俊

のままでは取引を行えないことが明らかになりました。

そこで、2010年度にハイフォン市の企業の製造技術力と工場管理力の底上げを図るための基本計画を作成し、2011年度から3年間の実施計画では、製造技術力の向上に向け、ハイフォン市の工業職業短期大学内に本市から派遣した専門家などが相談に応じる「技術相談窓口」を設置するとともに、工場管理力の向上に向け、同短期大学で「生産マネジメント」の講義ができる先生を本市で育成することとしています。

このプロジェクトによりハイフォン市の工業技術力が向上し、本市とのビジネス発展につながることが期待されます。

(注):首都ハノイの東方、約110kmに位置する人口185万人、ベトナム第3位の工業・港湾都市

建築・都市に活かす低炭素化技術

国際環境工学部「建築・都市低炭素化技術開発センター」の新設

国際環境工学部

地球温暖化をはじめとする環境問題、東日本大震災からの復興、原発事故による新たなエネルギー問題、自然環境との共生など、私たちは多くの課題に直面しています。本センターは、「北九州市立大学センター構想」の下、今年4月に新設されました。

建築デザイン学科を主体とした国際環境工学部のこれまでの研究を生かし、①素材・建物単体スケール、②街区・都市スケール、③エネルギー・資源の技術開発を行い、それらの成果を④北九州市の低炭素事業・環境未来都市理念のアジアへの適応へ展開することを目的としています。研究体制には、北方キ

建築・都市低炭素化技術開発センター長 黒木 荘一郎

ヤンバスの都市政策研究所も加わり、ひびきのキャンパスと北方キャンパスの連携を強めていきます。また、民間企業・行政や地域・市民と協働を図り、ハード面の研究からソフト面の研究まで、多種多様な研究開発を推進しています。

4月に開催した設立記念講演会「建築分野の低炭素事業の展開」、10月のエコベンチャー・メッセ2011への出展、産学連携フェアでの出展およびシンポジウム「震災後の低炭素化社会構築への展望(北九州環境首都への挑戦)」の開催、「アジアの若手研究者・学生交流事業」で寄せられた大きな期待に応えるべく、地域やアジアの持続可能な発展に貢献していきます。



エコ・ベンチャー・メッセ2011(10/12~14、西日本総合展示場)での展示



第11回産学連携フェア シンポジウム「震災後の低炭素化社会構築への展望(北九州環境首都への挑戦)」(10/21、北九州学術研究都市会議場)



国際環境工学部 建築・都市低炭素化技術開発センター
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1-1
TEL:093(695)3370 FAX:093(695)3396
E-Mail:LCTBCcenter@gmail.com
Web:<http://lctbccenter.env.kitakyu-u.ac.jp/>

北九州市立大学 ゼミ紹介

ソニーと連携！ 松永ゼミ「環境ビジネス」

大学院マネジメント研究科 准教授 松永 裕己

松永ゼミでは「環境ビジネス」を学んでいます。私たちのゼミの特色は、企業、NPO、行政などとコラボレーションすることによって現場での活動と大学内の学習を結びつけようという点にあります。現在は、ソニー(株)と連携して携帯電話や小型電子機器のリサイクルシステムの構築について検討しています。

この事業の最大の課題は回収量の確保にあります。松永ゼミでは、大学内や地域でどのような回収のしくみが可能なのか検討し、ソニーに提案・実施しています。数ヶ月に一度ソニー本社から担当者を招き、ゼミ生による企画の提案や活動の報告を行うとともに、ソニーから直近の回収状況や事業の進捗について説明を受け、それを次の活動に活かすというものです。また、10月28日には、中鉢ソニー(株)副会長との懇談も行いました。



ソニー担当者との勉強会



学生と懇談する中鉢副会長(右から2人目)

単に「みんなでがんばりました」というイベント的な取り組ではなく、マネジメントやマーケティングなどの知のツールを用いた分析や戦略立案を目指しています。こういった活動を通じて、環境ビジネスの知識の習得だけではなく、分析力や企画力を身に付けることを目的としています。



PROFILE

松永 裕己(まつながひろみ)

大学院マネジメント研究科准教授

1998年、九州大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。

同年4月より本学勤務。経済地理学の視点から、環境ビジネスやソーシャルビジネスの分析を行っている。

必要なのは「実践力」

経営情報学科 准教授 浦野 恭平

私たちのゼミでは経営学の諸領域、特に「経営戦略論」の研究に取り組んでいます。

古くから「経営」とはscienceなのかartなのかといった議論がありますが、私たちは「経営学」を学ぶ上での課題は、経営現象の法則性(=「理論」)をしっかりと理解し、そして、学んだ諸理論を実践の文脈のなかで統合(synthesis)して活用する「実践力」を身に付けることだと考えています。

ゼミでは「文献研究」と「ケース研究」を繰り返します。具体的には、実際の企業経営を記述した「ケース資料」にもとづき、「もし、自分が企業の“当事者”となった場合どのように意思決定するか、すべきか」といった問題について、学生同士が議論を交わすことで自ら考えて発信する力を身に付けていきます。ちなみに昨年取り上げた企業は、キーエンス、ローソン、大修館書店など25社以上にのぼりました。また、企業への訪問活動なども実施し、さらなる「実践力」に磨きをかけています。

学生達が将来さまざまな領域で主体的に活躍できる人材になって欲しいと願っています。



浦野ゼミ



白熱する議論



PROFILE

浦野 恭平(うらのやすひら)

西南学院大学大学院経営学研究科博士後期課程満期終了退学後、1994年本学経済学部着任。担当科目は「マネジメント論基礎」、「経営戦略」、「地域企業分析」等。北九州の地域特性に根ざした研究と経営教育の連携が現在のテーマ。

ENJOY! THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU LIFE!

北九州市立大学には様々なサークル、学生活動があり、それぞれ活気に満ちた学生生活を楽しく送っています。そんなサークル活動や学生活動の成果をご紹介します。

第11期北九州ポートアテンダント 本学の学生がポートアテンダントに選ばれました。

文学部比較文化学科1年 田辺佳純

私は先日、第11期ポートアテンダントに選出されました。ポートアテンダントとは北九州港振興協会が実施する船や港に関する各種イベントへの参加及びPR活動を行うボランティアです。

1学期半ばに関係者の方が、私の所属する放送研究会へお話を持ってきてくださったことがきっかけで、興味を持ったので申し込みました。

10月5日に第10期のメンバーとの交代式を終えました。まだまだ未熟者の私ですが、これから活動を通して成長してきたいと思います。



第10期ポートアテンダントとともに北橋市長を囲んで(田辺さんは写真右端)

北九州ポートアテンダントとは…

北九州港の発展をめざして振興活動を行っている社団法人北九州港振興協会に所属し、北九州港の顔として、北九州港に入港した船舶への歓迎訪船や、海の日の行事など港や海に関する各種イベントの司会進行などで3年間活躍していきます。

ミスポート門司

本学学生がミスポート門司に！

地域創生学群地域創生学類2年 山本亜矢

私は地域創生学類の地域マネジメントコースに属しています。現場実習では門司港プロジェクトを選択しています。このプロジェクトは門司港の栄町銀天街5番街にある、昭和レトロ館の運営とともに商店街の活性化に向けて活動しているプロジェクトです。このような活動をしている中で、商店街の理事長さんよりミスポート門司のお話を聞きし、少しでも門司を盛り上げる為に働くさせて頂きました



「門司に遊びに来て下さい」と笑顔の山本さん(写真左)

いという思いで応募しました。

1年間学ぶ姿勢を忘れずに、一生懸命ミスポート門司として頑張っていきたいと思います。

詩のボクシング

全国大会に出場し 準優勝！

10月22日に東京都イイノホールで行われた、第11回「詩のボクシング」全国大会で、文学部人間関係学科1年生の村上昌子さんが準優勝となりました。今大会はミュージシャンのサンプラザ中野くん氏、フォークシンガーのなぎら健児氏も参加し、その中で輝かしい成績を収めました。



詩のボクシングとは…

ボクシングリングに見立てたステージ上で、2人の朗読ボクサーが交互に自作の詩を身体全体を使って朗読し、どちらの声と言葉がより観客に届いたかを判定するもので、「声と言葉のスポーツ」「声と言葉の格闘技」と呼ばれています。

九州インカレ

6月18日から開催されていた第61回九州地区大学体育大会(九州インカレ)夏季大会で優秀な成績を収めた本学サークルは以下のとおりです。

【結果】

●弓道部(男子) 3位

5勝2敗で結果は第3位でしたが、優秀射技校に選ばれました。

●ソフトテニス部(女子) 3位

準決勝で長崎大学に敗れ、第3位という結果でした。

●水泳サークル(男子・女子)

地域創生学群地域創生学類3年の持永洋貴くんが、200m背泳ぎで2位になったほか、男女ともに多くの入賞を果たしました。

水泳サークル「水民KID」

第58回全国国公立大学選手権 水泳競技大会に出場！

水泳サークル 部長
国際環境工学部情報メディア工学科3年 松尾克哉



白石さん、持永くん、中間さん(写真左から)



賞状を手にほほえむ白石さん

私達水泳サークル「水民KID」は、ひびきの・北方の両キャンパスの学生で構成されるサークルです。ひびきのと北方ではキャンパスが遠いため別々に練習する事が多いですが、一人ひとりが目標を持って頑張っています。

その中、平成23年8月に京都で開催された「第58回全国国公立大学選手権水泳競技大会」に3名の選手が出場する事ができました。

地域創生学群3年持永洋貴くんが背泳ぎ、同2年中間雅さんが自由形、同白石恵理さんが背泳ぎに出場し、100m背泳ぎで白石さんが8位入賞をすることができました。

今後も、全国大会出場選手を増やすために、日頃の練習を頑張っていきたいと思います。

全国国公立大学選手権水泳競技大会とは…
水泳の国公立大学対抗の大会で、俗に「全国公」と呼ばれます。

毎年8月上旬に開催され、今年度で58回目を数えます。

第58回目の今年は、“東日本大震災復興支援”的サブタイトルのもと、京都を舞台に熱い戦いを繰り広げました。

国民大学校語学研修

国民大学校の語学研修に 行ってきました。

外国語学部国際関係学科2年 村上莉奈

アニヨハセヨ～！ 今年の夏、ソウルにある国民大学校に約2週間語学研修に行ってきました。初めての韓国。私は第二言語で韓国語を履修していて、絶対参加しようと昨年から考えていました。あっと言う間の2週間でしたが、韓国で感じたこと学んだことは数え切れません。

今回の研修に参加したのは15人。初級と中級の2クラスに分かれ午前中の3時間みっちり韓国人の先生から韓国語の授業を受けました。私は中級のクラスでしたが、最初は韓国人の先生の早口なしゃべりを聞き取れるか心配でした。でも、毎日、文法や単語中心の講義やペアになっての会話演習などの授業を受けるうちに、聞き取れるようになり、とても嬉しかったです。それに先生も楽しい方で本当に楽しく勉強できました。午後からは、チマチョゴリを着たり、サムルノリという韓国の伝統的な楽器を演奏したりと、毎日



研修生みんなと記念撮影(村上さんは前列左から3人目)

違った文化体験もしました。授業が終われば、友達と国民大学校からそんなに遠くない明洞へ買い物に行ったりしました。そこで感じたのは、韓国人男性は本当に格好良く、女性は綺麗な人ばかりだということです。やはり美の秘訣は韓国料理にあるのかな、と思いました。韓国のキムチは日本のキムチより断然辛く、何回泣いたかわかりません。

こうして過ごした韓国の2週間は本当に良い経験となりました。「行ってよかった。韓国語をもっと頑張ろう！」と心から思いました。皆さんにもこの研修をお勧めします。

国民大学校(概要)

- (1)所在地 韓国ソウル特別市城北区貞陵洞861-1
(2)学部 文科、社会科学、法科、経商、工科、造形、山林科学、自然科学、芸術、体育、建築、経営、電子情報通信、教養家政
(3)学生数 学部 約20,400名、大学院 約3,300名
(4)評価



・2007年の韓国内の全国的な査定において、建築学部は全5分野の評価項目のうち、3分野で1位、2分野で2位に位置した。建築分野ではソウル大学校と弘益大学校と共に韓国を代表する大学とされている。
・2011年の中央日報大学ランキングにおいて、経済学部(大学院)は第8位。経済学部と社会学部、また建築学部(大学院)も高い評価を得ている。

【本学との連携】

○2011年1月 北九州市立大学と国民大学校の間で、「友好校協定」と「語学研修に関する協定」を締結。

○2011年8月13日(土)～8月27日(土)

平成23年度国民大学校語学研修の実施。本学より15名(外国語学部国際関係学科7名、文学部比較文化学科7名、法学部法律学科1名)が参加。

Information

平成22年度及び第一期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果

本学の平成22年度及び第一期中期目標期間(平成17年度から平成22年度までの6年間)に係る業務実績に関する評価結果が8月19日(金)に公表されました。この評価は、地方独立行政法人法に基づき、北九州市地方独立行政法人評価委員会(委員長:石田重森 福岡大学名誉学長)が実施するもので、今年は6月から8月にかけて、本学の平成22年度における業務実績と第一期中期目標期間に係る業務実績について評価作業を行われました。

すべての項目の進捗状況が計画を「概ね順調に実施している」か「上回って実施している」との評価を受けしており、特に中期計画については全169項目のうち、70項目(約42%)が「中期計画を上回って実施している」という高い進捗状況であり、教育研究等の質の向上など5分野すべてにおいて「中期目標の達成状況が良好である」との評価を受けました。

また、評価の総括においても「中期計画の169項目すべてを完了したことに心から敬意を表したい。」「全

国公立大学の中でも計画達成状況も優れていると認められる。」と記述されており、特に、基盤教育センターの設置による基礎教育の推進や地域創生学群の設置による地域人材の育成、地域共生教育センターの設立による地域との連携強化、学生支援体制の強化による留年者等の減少、国際交流の推進などは高く評価されております。

なお、国際人の育成や情報活用能力に関する教育の充実など、今後もさらなる取り組みが期待されているものについては、引き続き、第二期中期目標期間(平成23年度から平成28年度までの6年間)の中で取り組んでいくこととしています。

評価結果については、本学のホームページ(<http://www.kitakyu-u.ac.jp/outline/kouhyou.html>)のほか、北九州市のホームページ(<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>)でも公表しています。

教員人事

[採用](平成23年10月1日付)

○講師

法学部	濱本 真輔	国際環境工学部	天野 史章
法学部	福重 さと子	国際環境工学部	陶山 裕樹

[退職](平成23年10月14日付)

○講師

基盤教育センター	Joseph J.Dilenschneider
----------	-------------------------

会議開催

教育研究審議会

第146回

平成23年9月13日(火)

- ・教員の採用について
- ・教員の再任について
- ・特任研究員の選考について
- ・学位規程の改正について

第148回

平成23年10月11日(火)

- ・教員の人事について
- ・平成23年度卒業延期特例措置について
- ・「人を対象とする研究」における研究倫理検討プロジェクト委員会の設置について

第147回

平成23年9月27日(火)

- ・ICT整備検討会議最終報告について
- ・ICT総合支援センター設置準備委員会の設置について
- ・平成23年度前期学友会交渉申し入れに対する回答(案)について

第149回

平成23年10月25日(火)

- ・教員の採用について
- ・地域共生教育センターの運営体制について
- ・学友会交渉申し入れ書の回答について